

肺がんについて知っとこうか



藤田 琢也
副院長補佐
呼吸器外科 部長

肺癌の疑いがあっても気管支鏡検査で診断がつかない場合はどうするのでしょうか？

肺癌の診断法で、最も確実なのは手術による切除です。また肺癌を根治させる力が最もある治療法も手術による切除です。

そのため、確定診断がついていなくても肺癌の可能性が高ければ、診断と治療を兼ねた手術を行います。肺癌の手術は、以前は大きく胸を開いて行う手術が主体でしたが、現在は胸腔鏡というカメラを用いて小さな傷で行う手術が主流です。

診断がついていない肺の塊であれば、まずは肺を塊含む部分に限局した小さな切除（部分切除といいますが）を行い、それを手術中に顕微鏡で見るとすぐに診断をつけ、肺癌と診断されれば、肺がん治療のため、さらに拡大切除を行います。約3〜4時間の手術で、10日ほどの入院が必要です。

手術以外の治療法についてはどうでしょうか？

早期肺癌であれば手術が第一選択ですが、進行がんに関しては放射線治療と薬物治療が主体となります。

肺癌という病気の現状と原因について教えてください。

日本における死亡原因の第一位は、悪性新生物の癌です。肺癌はすべての癌の中で最も死亡される方が多く、全臓器の癌の中で30%の死亡原因を占める病気です。原因としては、呼吸する臓器です。その中で空気中の発がん物質に暴露されることで癌細胞が発生します。具体的には、タバコや喫煙です。また大気汚染、粉塵、ウイルスや遺伝的要因等、多種に及びます。

どんな症状が出るのでしょうか？

すべての癌に言えることですが、人体の中の細胞が一部変異して増殖しますので、最初は症状が出にくいです。検査のレントゲンで異常指摘されたり、他の病気で異常指摘されたレントゲンやCT検査で偶然発見されることで受診されることが非常に多く、また早期で見つけるためには、検査が非常に大事となっています。癌が大きくなると徐々に症状が出現し、咳、喀痰、胸痛、呼吸苦等が生じます。

肺癌の検査について教えてください。

まずはレントゲン検査を行います。健診でも行われ簡便な検査です。続いてCTを行います。画像検査としては最も重要な検査で、肺癌の可能性がどれだけ高いか、リンパ節が腫れていないか等を見ます。肺癌の疑いがあれば、細胞や組織を取って病理学的診断を試みます。そのため、まずは気管支鏡検査を行います。気管支鏡での生検（組織採取の検査のことですが）では診断がつかないければ、CTガイド下生検を考慮したりしますが、小さいものでは診断が付きにくいです。また、肺癌であれば全身の検査を行います。これはどこまで転移しているかを見るためであり、全身PETと、比較的新しい検査であるPET検査、頭部MRI検査を行います。これらの検査によって、どのようなタイプの肺癌で（タイプというのは腺癌、扁平上皮癌、小細胞がん等の組織型のことです）、どこまで進行しているか（病期・ステージ）が決まり治療方針が決まります。

お知らせ

レスパイト入院やっています

※「レスパイト」とは、治療入院は必要でなくても介護者・家族の所用や病気のケアにより一時的に介護が担えなくなったときに、病院に入院いただき必要な医療処置・ケアをおこなうことをいいます。

＜受け入れ概要＞条件等＜

- ・対象者…高齢者施設・障害者施設等での短期入所ができないような医療処置のある方、それに準ずる方
- ・※胃ろう交換をあわせてレスパイト入院ご希望の方もご相談可能です。
- ・原則、リハビリテーションは必要に応じてありません。
- ・原月で3カ月前から利用受付いたします。
- ・原則、木金曜日入院でお願いします
- ・基本1週間程度の入院になります。
- ・長くて2週間までの期間です。
- ・※病床の状況・判定の状況によってはお断りする場合があります。

甲賀病院としての肺癌診療の特徴はありますか？

検査、手術、薬物治療、放射線治療、すべてにおいて当院で行うことは可能です。大学病院や、がんセンターのよりに最先端の治験や治療に出した訳ではありませんが、一般的な肺癌治療として全般的に可能であり、患者さん一人一人の病状と希望（社会的な条件、例えばできるだけの仕事しながら治療を行いたい等）に合わせた治療を行うことができるのが地域病院の特徴と考えます。

採用情報

- 常勤** 看護師、助産師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、介護福祉士
- 非常勤** 看護師、病棟クラーク、メディカルヘルパー、医師事務作業補助者
- お問い合わせ** 人事課（電話：0748-62-0234（代表））

総合相談窓口のご案内

- 下記の日時に行いますので、お気軽にご利用ください。
- 日時** 月～金曜日（祝日を除く）
8時30分～17時15分
 - 場所** 診療棟正面ホール 相談コーナー
- ※当院職員にお声掛け願います。

当院を受診される際は、診察カードをご持参ください（お問い合わせの際にもお手元にご用意ください）